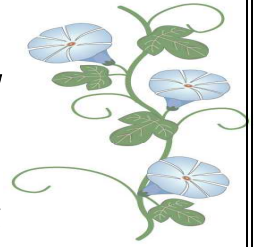


演題 「親としての子どもへの関わり方について」

【講師】名古屋学芸大学准教授 林 典子 さん

磐田市立豊田中学校 PTA厚生研修委員会



7月4日に開催した教育講演会は、名古屋学芸大学准教授の林典子さんをお招きし、「親としての子どもへの関わり方について」というテーマで御講話をいただきました。

養護教諭としての40年の教職生活をもとに、具体的な事例を交えながら、わかりやすいお話を聴くことができました。保護者の方々には、子育てのヒントをいくつもいただくことができ、有意義な時間になったのではないかと思います。



♥ 家庭でよく子どもと話をしますか？

- ・中学生くらいの時期は、親から子どもへの話が多くなる。
- ・母親や兄弟姉妹と話すことは多いが、父親との会話が少なくなる。男子は父親との会話が女子よりは多い。



子どもたちの気持ち キーワード



- 努力したことはほめてほしい
- 気持ちをわかってほしい ほめてほしい
- 兄弟姉妹・友達と比較しないでほしい
- くどくど言わないでほしい
- 困ったときは、一緒に考えてほしい。

思春期の子どもの問題

- ・コミュニケーションが下手
- ・意志決定能力の力不足
- ・素直になれない
- ・判断力が不適切
- ・やり方がわからない
- ・自分に自信がない

問題を解決するためには… **家庭生活・親子関係がベース**

♥ 問題を解決するためのスキル(能力)を育てる→自尊心(自分を大切にできる気持ち)が高まる

☆スキル(意志決定)を育てるには…

- ・問題をつかむ
- ・解決する方法をいくつか考える
- ・その方法のメリット・デメリットを考える
- ・解決を阻むものがないか考える
- ・解決策の中から1つ選択する
- ・決めたことをがんばる



☆生きる力を育てるには…

- ・課題をつかむ
- ・やり方がわかる
- ・まずやってみる
- ・練習を繰り返す
- ・何時でもやれるようになる
- ※大人が解決してしまわない
- ※見守り励ます 出来たことを認める



♥ 子どもを受容しよう

- ◇言葉 相手の言葉を繰り返す
- ◇呼吸 テンポ・深さ

- ◇姿勢 位置・動き・ジェスチャー・表情
- ◇スキンシップ いろいろな時・場

- ◇声の質 リズム・調子・大きさ
- ◇感覚 視覚・聴覚・身体感覚

♥ 子どもが安心する

- ・困ったときは助けてくれる
- ・私は愛されている
- ・私を認めてくれる
- ・家に存在感がある
- ・いつでも相談にのってくれる

♥ 子どもと関わる留意点

- ・自然体で
- ・聞き上手に
- ・スキンシップを
- ・信じる
- ・心配かけない
- ・一緒に考える
- ・ポジティブに
- ・愛情表現を
- ・心の能力を育てる



思春期とは… 揺れ動く危うさの時代 → 自分探しの航海 夫人になるための通り道



～親としての関わり方～

愛情をもって… 「尊重」「信じる」「厳しさ」「優しさ」

* 100%の親はいない * 親の経験を話しながら子どもと一緒に考えていく